

【完了実績報告書】提出書類の作成ガイド

<精算補助申請額算出について>

- 補助金精算調書兼精算額の算出総括表（【SNJ】様式 2 改完）
- 事業の概要（【SNJ】様式 3 改完）
- 事業費総括表（【SNJ】様式 5 改完）の記入方法

[記入手順]

1. **様式 6 改完 対象住戸工事内容説明書・共用部工事内容説明書に申請改修工事内容を記載**してください。

完了した工事内容を記入してください。

2. **添付 9 工事費精算内訳書を作成**ください。

工事項目に補助対象外となる工事金額については、内訳書内に「補助対象外」と記入して明記してください。（補助対象外工事項目については、平成 30 年度交付申請要領 p11 補助対象外の費用についてをご参照ください。）

なお交付時より変更がない場合は不要です。

3. 共用部工事がある場合は、面積按分で補助対象工事費を算出する必要があります。（平成 30 年度交付申請要領 p7 補助額をご参照ください。）

面積按分表を作成してください。

（様式末尾に面積按分参考の表が添付されております。ご利用ください。）

4. **【SNJ】様式 5 改完 事業費総括表を作成**してください。

（黄色のセルだけ記入してください。白色のセルは自動入力されます。）

- 4-1. 「1.補助対象共用部工事費の算出」

t 2 補助対象住戸面積按分比に、面積按分参考で算出した割合を転記してください。

- 4-2. イ共用部工事費に添付 9 工事費精算内訳書より、共用部の工事費合計金額を記載してください。

- 4-3. □補助対象共用部工事費は、自動計算により、表記されます。

- 4-4 「2.補助対象工事費の算出」

住宅専用部分工事費(工事費計・補助対象工事費)等

黄色のセル部分の費用を添付 9 工事費内訳書より、転記してください。 .

5. **【SNJ】様式 3 改完 事業の概要及び補助要望額をご確認**ください。

（黄色のセルだけ記入してください。白色のセルは自動入力されます。）

6. **【SNJ】様式 2 改完 精算額の算出総括表、補助金精算調書を作成**ください。

事務局管理番号									
3	0	0	0	0	0	△	△	△	△

交付申請書と同じ番号をご記入ください。

推進事業室が記入します。

【住宅確保要配慮者専用賃貸住宅改修事業】完了実績報告提出書類リスト
改修工事

提出書類	書式名称	留意事項	申請者 確認欄	推進室 確認欄
本書類	◎ 提出書類リスト		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
申請書類	確甲完 ◎ 要件適合確認書（申請者）	押印	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	確建完 ◎ 要件適合確認書（建築士）	押印	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	様式1改完 ◎ 完了実績報告書	押印	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	様式2改完 ◎ 補助金精算調書兼精算額の算出総括表		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	様式3改完 ◎ 事業の概要		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	様式4改完 ◎ 請求書		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	様式5改完 ◎ 事業費総括表		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	様式6改完住戸 ○ 対象住戸工事内容説明書【共同居住型以外】		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	様式6改完共用 ○ 共用部工事内容説明書【共同居住型以外】		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	別紙1 ◎ 改修工事前後の写真（外観・内観）		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	委任状 ○ 委任状	押印	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	規約 ○ 共同事業を説明する書類	押印	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	面積按分参考 ○ 面積按分表		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

必要な書類が揃っている事を確認し、チェックを入れてください。

提出する書類全てにチェックを入れてください。

添付資料	添付1 ○ 対象建築物の権利関係を示す資料（登記全部事項証明書・賃貸借契約書の写し等）	交付申請時より変更がある場合に提出 発行日より3か月以内のもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	添付2 ○ 建築士免許証・建築士事務所登録証明書の写し（要件適合等、工事監理、耐震改修）	交付申請時より変更がある場合に提出	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	添付3 ○ 建築士による耐震改修工事証明書	申請工事の工事監理が行なわれる場合(工事監理契約がある場合等)は、添付してください。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	添付4 ○ 建築士による工事監理報告書の写し	工事監理報告が必要となる場合に提出	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	添付5 ○ 検査済証の写し	確認申請が必要な申請の場合に提出	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	添付6 ◎ 改修後の建物の設計図書（配置図、各階平面図、立面図、面積表、求積図）	立面図、断面図は、他図面において改修工事 範囲が確認できるものについては不要	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	添付7 ○ 改修後の建物の住戸タイプごと及び共用部分の平面詳細図	平面図で工事内容が確認できる場合不要	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	添付8 ◎ 事業費の総額が確認できる請負契約書の写し		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	添付9 ○ 工事費精算内訳が記載された精算書等、補助対象事業費が確認できる書類	交付時より変更がない場合不要	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	添付10 ◎ 請求書、領収書、送金伝票（入出金を確認できるもの）の写し		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	添付11 ○ その他、推進事業室が求める書類		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

◎：必須資料、○：事業内容により必要

必要な書類が揃っている事を確認し、チェックを入れてください。

交付申請書と同じ番号をご記入ください。

【SNJ】 確申完

平成30年度【住宅確保要配慮者専用賃貸住宅改修事業】 完了実績報告要件適合確認書（申請者）

		要件の確認 1～6	申請者 確認欄	推進室 確認欄
登録	1	住宅確保要配慮者専用の住宅として登録されるもの（以下、「専用住宅」という。）であること	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2	当事業による補助を受けた専用住宅として10年以上登録するものであること （セーフティネット住宅情報提供システムで、登録期間120ヶ月以上が確認できる）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
家賃	3	入居者の家賃の上限額が家賃算定基礎額（収入分位40%）に規模係数及び市町村立地係数を乗じて得た額以下である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4	入居者（世帯）が次の①～⑯のいずれかに該当する者（世帯）であること		
事業要件 ※ 入居者	①	高齢者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	②	障害者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	③	子どもを養育している者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	④	被災者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	⑤	低額所得者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	⑥	外国人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	⑦	中国残留邦人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	⑧	児童虐待を受けた者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	⑨	ハンセン病療養所入所者等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	⑩	DV被害者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	⑪	拉致被害者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	⑫	犯罪被害者等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	⑬	更生施設退所者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	⑭	生活困窮者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	⑮	被災者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	⑯	賃貸住宅供給促進計画に定める住宅確保要配慮者 （要配慮者：LGBTをはじめとする性的マイノリティ）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	5	地方公共団体の空家等対策計画、地域住宅計画、供給促進計画等に空家の有効活用等の推進が位置づけられている （計画名：〇〇県賃貸住宅供給促進計画）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6	地方公共団体が居住支援協議会等と連携に係る取組を行っている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

登録した専用住宅の入居者に該当していることを確認してチェックをいれてください。

都道府県または市町村の賃貸住宅供給促進計画に定める住宅確保要配慮者を入居者として登録した場合は、その内容を記入してください。

位置付けが記載されている計画名称を記入して下さい。

※確認の仕方としては、地方公共団体の空家等対策計画、地域住宅計画、供給促進計画等に、空家の有効活用等の推進の位置づけがあることを確認し、計画名を記入ください。

交付申請において確認した事業要件、登録基準を守り、登録署名、押印の上、確認書を提出します。尚、上記事業要件に

必ず「地方公共団体が居住支援協議会等と連携に係る取組を行っている」要件を満たす必要があります。確認の上、チェックをしてください。

平成 30 年 10 月 18 日	申請者 株式会社 SN住宅
完了実績報告書事前相談提出日 を記入してください。	法人名 代表取締役 住宅花子

印

事務局管理番号									
3	0	0	0	0	0	△	△	△	△

交付申請書と同じ番号をご記入ください。

【SNJ】 確建完

住宅確保要配慮者専用賃貸住宅改修事業 建築士による補助対象改修工事に係る要件適合確認書

補助要件の確認		建築士 確認欄	調査 検査者 確認欄	推進室 確認欄
補助 対象 改修 工事	バリアフリー改修工事	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	耐震改修工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	共同居住用住居に用途変更するための改修工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	間取り変更工事	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	居住のために最低限必要と認められた工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	居住支援協議会が必要と認める改修工事	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

適合確認書の作成者は、改修工事を実施する建物について設計・工事監理ができる建築士資格を有する建築士であり、かつ都道府県知事登録を行っている建築士事務所に登録する建築士に限ります。

上記内容に適合する工事を行ったことを確認しました。
なお、補助金額の確定の際及び補助金の支払い後の検査等の結果、故意又は悪意による虚偽の証明、未確認での証明などの行為が判明した場合には、建築士法第10条の規定に基づく懲戒処分の対象となることを十分に理解した上で、証明したものであることを確認します。

工事完了後に確認し、チェックを入れてください。

- 現場において、工事の状況及び工事が完了していることを確認している。
- 交付申請書に記載している工事内容と、実際の工事内容が適合していることを確認している。
- 別紙1の改修前後の改修写真について、実際の物件、工事であることを確認している。

○建築士法（昭和25年5月24日法律第202号）（抄）

（懲戒）

第10条 国土交通大臣又は都道府県知事は、その免許を受けた一級建築士又は二級建築士若しくは木造建築士が次の各号のいずれかに該当する場合には、当該一級建築士又は二級建築士若しくは木造建築士に対し、戒告し、若しくは一年以内の期間を定めて業務の停止を命じ、又はその免許を取り消すことができる。

- この法律若しくは建築物の建築に関する他の法律又はこれらに基づく命令若しくは条例の規定に違反したとき。
- 業務に関して不誠実な行為をしたとき。

2～6 略

上記の要件を確認した建築士について記入してください。

平成 30 年 10 月 18 日

<建築士>

（ 1級 ） 建築士（ 国土交通大臣 ） 登録 〇〇〇〇〇 号

建築士名 資格 有太 ①

建築士事務所名 ×××一級建築士事務所

登録番号 △△△ 知事登録第 ◇◇◇◇ 号

事務所所在地 東京都中央区日本橋〇-〇-〇

電話 03-1234-56××

完了実績報告書事前相談の提出日を記入してください。

事務局管理番号									
3	0	0	0	0	0	0	△	△	△

交付申請書と同じ番号をご記入ください。

【SNJ】様式1改完

申請日 平成 30 年 11 月 1 日

スマートウェルネス住宅等推進事業室 殿

平成30年度住宅確保要配慮者専用賃貸住宅改修事業

交付決定通知日を記入してください。

完了実績報告書
専用住宅への改修工事

完了実績報告書の事前相談が終了後、郵送提出いただく前に事務局よりお伝えする日付けを記入してください。それまでは、空欄としてください。

平成 30 年 8 月 1 日付け SNJ01-30 - 000000-△△△△ 号をもって交付決定の通知を受けた標記事業が完了したので、平成30年度スマートウェルネス住宅等推進事業交付規程（スマートウェルネス住宅等推進モデル事業）第11の規定により、関係書類を添え、下記のとおり報告します。

記

交付決定通知書の番号を記入してください。

住宅の名称	(フリガナ) スマートウェルネスアパート スマートウェルネスアパート
住宅の所在地 (地名地番)	東京都世田谷区×町1979-*** 該当するチェックボックスを■にしてください。

1 交付申請者 (完了実績報告)	<input type="checkbox"/> 建物所有者 <input checked="" type="checkbox"/> 賃貸人 <small>該当する口をチェックしてください。</small>	
	法人名	(フリガナ) カブシキカイシャ エスエヌジュウタク 株式会社 SN住宅
	所属・役職	(フリガナ) タチョウリツリヤク 代表取締役
	氏名	(フリガナ) ジュウカハチ 住宅 花子
	住所	〒 111-0000 東京都千代田区神田〇-〇-〇
	電話	03-6666-XXXX
個人 <input type="checkbox"/>	法人 <input checked="" type="checkbox"/>	共同事業主・発注者の有無 <input checked="" type="checkbox"/> なし(単独事業) <input type="checkbox"/> あり(共同事業)

該当するチェックボックスを■にしてください。

郵送提出時に、交付申請書と同じ印鑑で、押印をしてください。

1. 交付申請者と異なる場合は、代表者役職・代表者氏名・代表者印、個人の場合は氏名のみを記入します。ご記入ください。

2 <input checked="" type="checkbox"/> 住宅の所有者	法人名	
	所属・役職	
	氏名	大家 配慮
	住所	〒 123-0000 東京都新宿区下落合〇-〇-〇
個人 <input checked="" type="checkbox"/>	法人 <input type="checkbox"/>	電話 03-5555-XXXX

3 <input type="checkbox"/> 住宅の賃貸人	法人名	
	所属・役職	
	氏名	
	住所	〒 (都道府県から記入)
個人 <input type="checkbox"/>	法人 <input type="checkbox"/>	電話

郵送提出時に、交付申請書と同じ印鑑で、押印をしてください。

4 本交付申請（完了実績報告）に係る事務担当者	法人名	(フリガナ) カブシキカイシャ エスエヌジュウタク 株式会社 SN住宅			
	所属・役職	(フリガナ) キカクブ フチャウ 企画部 部長			
	氏名	(フリガナ) チンタイ タロウ 賃貸 太郎			
	住所	〒 111-0000 東京都千代田区神田〇-〇-〇			
	電話	03-6666-XXXX			
	FAX	03-6666-△△△△			
個人 <input type="checkbox"/> 身分証明書	法人 <input checked="" type="checkbox"/> その他	e-mail	〇△△@XXXX.ne.jp	緊急連絡先	090-1111-XXXX

該当するチェックボックスを■にしてください。

交付申請時より変更の場合は以下の証明書が必要

※事務担当者は交付決定通知書等の重要書類の送付先になります。平日の日中に連絡が可能で確実に書類が受け取れる連絡先を明記してください。

※交付申請者の委任により全ての事務を事務担当者に代行することは可能です。事務局から申請や工事について確認する場合がありますので、平日の日中に連絡を取れる方としてください。交付申請者に属さない方へ委任される場合は委任状を添付してください。

事務局管理番号					
3	0	0	0	0	0
△	△	△	△	△	△

交付申請書と同じ番号をご記入ください。

【SNJ】様式2改完

【精算額の算出総括表】

【SNJ】様式3改完
補助対象外事業費を転記してください。

【SNJ】様式3改完総事業費を転記してください。

1. 改修工事費（消費税抜） （単位：千円）

	総事業費	事業費のうち補助対象外となる金額	補助対象事業費	備考
改修工事費	9,550	929	8,621	
計	9,550	929	8,621	

※工事監理費は補助対象外となります。事業費のうち補助対象外となる金額欄に記載して下さい。

2. 登録住戸数（補助上限の設定） （単位：千円）

補助申請した専用住宅登録住戸数	10
補助上限額（千円）	7,500

【SNJ】様式3改完
戸当たりの上限額の合計より
転記してください。

..... (1)

※補助限度額は50万円/戸

※用途変更、間取り変更、耐震改修を伴う工事を申請する場合は補助限度額50万円/戸を追加

3. 補助額の算出 （単位：千円）

D：対象事業費(円)	8,621
補助率	1/3
補助要望額（千円）	2,873

【SNJ】様式3改完
補助額②より転記してください。

..... (2)

4. 補助額 （単位：千円）

E：補助要望額（千円）	2,873	(1)・(2) いずれか 額の小さい方
-------------	-------	------------------------

※補助計算額、補助申請額は千円未満切り捨て

※補助上限額と補助計算額を比較して、低い方の額が交付申請額となります。

【補助金精算調書】

（単位：千円）

区分		金額等	備考
交付決定内容	A	要配慮者専用賃貸住宅改修事業の補助対象事業費 (千円)	8,610
	B	補助率	1/3
	C	補助計算額(千円)	2,870
補助金清算額	D	精算対象事業費	8,621
	E	精算補助金額	2,870
F	補助金返納額又は不用額 C-E	0	黄色のセルは、 入力してください。 白色のセルは、自動入力されます。
G	補助金受入済額	0	
H	差引受入未済額又は超過額 E-G	2,870	

交付決定通知書より転記してください。

補助要望額が、交付決定の
補助金申請額を上回る場合は、
交付決定時の補助金申請額を
超えることはできません。

交付申請書と同じ番号をご記入ください。

市町村立地係数をかけ算出された
上限家賃額を記入してください。

事業の概要

登録申請内容を記入してください。
交付申請時より変更が生じた場合は、変更後の内容を
記入してください

1.登録概要		登録主体	月額上限家賃	64,900	円以下
専用住宅の登録内容	協議会名称	東京都居住支援協議会	登録戸数	10	戸
	登録申請者	株式会社SN住宅 代表取締役 住宅花子	住宅管理者名	株式会社SN住宅 住宅花子	
	住宅の名称	スマートウェルネスアパート			
	所在地名地番	東京都世田谷区×町1979-***			
	住居表示	東京都世田谷区×町〇〇-〇			

改修工事前の概要を記入してください

改修工事後の概要を記入してください

2.住宅の概要		改修工事前	改修工事後	備考
事業全体	戸数	14 戸	12 戸	
	補助対象住宅戸数		10 戸	
	規模	2 階	2 階	
	延べ面積	380.00 m ²	380.00 m ²	
	構造	木造	木造	
用途（建築基準法）	共同住宅		共同住宅	

改修工事後の概要を記入してください。

3.補助対象費用		*補助対象となる工事にチェックを入れて下さい。									
対象住戸概要	部屋番号	1住戸の改修後床面積	限度額50万戸数	限度額100万戸数	バリアフリー工事	居住のために最低限必要な工事	居住支援協議会が認める工事	100万/戸			設定家賃(円)
								耐震改修工事	間取変更工事	用途変更工事	
	101・201	26.00 m ²		2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	63,000 円
	102・202	25.50 m ²		2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	63,000 円
	103・203	26.00 m ²	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	63,500 円
	104・204	26.00 m ²	2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	63,500 円
	105	26.00 m ²	1		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	63,500 円
	106	28.50 m ²		1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	64,000 円
	合計戸数	10 戸	7,500	千円	戸当たりの上限額の合計・・・①						

同じ面積、同一の工事をした部屋毎に、部屋番号を記入してください。

登録した住戸の床面積を記入してください。

行なった補助対象工事を選択してください。

様式5改完の事業費総括表を記入すると、自動入力されます。

補助額	総事業費	補助対象外事業費	補助対象	様式5改完の事業費総括表を記入すると、自動入力されます。		
	9,550 千円	929 千円	8,621 千円	1/3	②	2,873 千円
調査設計に係る交付申請において受領した補助額③		1,400 千円	10 戸	②+③	4,273 千円	
補助要望額：①と②+③のいずれか小さい額から③を除いた額					2,873 千円	

実際に契約した日にち及び工期、施工業者名を記入してください。

調査設計計画の交付申請に書かれた登録予定住宅数を記入してください。

記入してください。

4.工事概要		完了検査申請	<input type="checkbox"/> 済	<input checked="" type="checkbox"/> 不要	⇒ 検査済証取得日	平成	年	月	日		
工事内容	請負契約日	契約	平成	30年	7月	21日					
	改修工事期間	着工	平成	30年	8月	1日	完了	平成	30年	10月	12日
	工事発注方式	<input checked="" type="checkbox"/> 請負施工 <input type="checkbox"/> 申請者自ら(自社施工) <input type="checkbox"/> その他()									
	発注工事施工者	〇×ケンセツカブシキカイシャ					発注先との関係	<input type="checkbox"/> 関係会社等 <input checked="" type="checkbox"/> 関係会社等ではない			
	工事費支払方法	<input checked="" type="checkbox"/> 自己資金 <input type="checkbox"/> 金融機関融資 (<input type="checkbox"/> 融資内諾証添付)									

事務局管理番号							
3	0	0	0	0	0	△	△

交付申請書と同じ番号をご記入してください。

完了時に変更になった内容を記入してください。

5.交付申請時からの軽微な変更の有無の確認

(1)	「バリアフリー改修工事」	変更	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
	<変更箇所・内容> 部屋番号102において、トイレ内手すりを1か所追加した。 それに伴い、補助対象工事金が¥11,000-増額となっております。		工事変更に伴い補助対象工事金額の変更の有無も記入してください。	
(2)	「耐震改修工事」	変更	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
	<変更箇所・内容>			
(3)	「共同居住用住居に用途変更するための改修工事」	変更	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
	<変更箇所・内容>			
(4)	「間取り変更工事」	変更	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
	<変更箇所・内容>			
(5)	「居住のために最低限必要と認められた工事」	変更	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
	<変更箇所・内容>			
(6)	「居住支援協議会が必要と認める改修工事」	変更	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
	<変更箇所・内容>		申請工事項目の変更の有無を該当するチェックボックスを■にしてください。	

事務局管理番号						
3	0	0	0	0	0	△△△△

交付申請書と同じ番号をご記入ください。

【SNJ】様式4改完

請求書

様式2改完のHの金額を一円単位で記入してください。

交付決定通知日を記入してください。

請求額 金 2,870,000 円

ただし、平成30年8月1日付け SNJ01-30 - 000000-△△△△号をもって交付決定のあった平成30年度スマートウェルネス住宅等推進事業に係る国庫補助金として、上記の金額を請求いたします。

交付決定通知書の番号を記入してください。

平成 30 年 11 月 1日

【SNJ】様式1改完の申請日の日付けを郵送提出前に記入してください。

スマートウェルネス住宅等推進事業室 殿

請求者及び振込先は、様式1改完の事業者の口座になります。交付申請時に登録した口座を記入してください。

郵送提出時に、交付申請書と同じ印鑑で、押印をしてください。

請求者： 住所 〒 111-0000 東京都千代田区神田〇-〇-〇

氏名又は名称 株式会社 SN住宅

代表者の職名・氏名 代表取締役 住宅 花子



振込先：

銀行名	フリガナ	▲▲▲ギンコウ					
		▲▲▲銀行					
支店名	フリガナ	トウキョウシテン					
		東京支店					
預金種別		<input checked="" type="checkbox"/>	普通	<input type="checkbox"/>	当座		
口座番号	*右詰めで記入		6	4	9	×	×
口座名義	フリガナ	カブシキカイシャ エスエヌジュウタク					
		株式会社 SN住宅					

誤りがないよう注意して記入ください。

事務局管理番号									
3	0	0	0	0	0	△	△	△	△

交付申請書と同じ番号をご記入してください。

【SNJ】様式5改完

【事業費総括表】

「面積按分参考」で算出した補助対象住戸面積按分比(t2)を転記してください

1. 補助対象共用部工事費の算出

t2	補助対象住戸 面積按分比	0.8275
----	-----------------	--------

t2は面積按分表で算出した、住戸面積の合計に対する補助対象住戸面積の合計の比率です。

イ	共用部工事費	750,000
---	--------	---------

精算による共用部工事費を記入してください。

イは見積書に記載された工事費のうち、共用部の工事費合計金額を記載してください。

□ イ×t2	補助対象 共用部工事費	620,625
-----------	----------------	---------

添付9 工事費精算内訳書より、住宅専用部分工事費を算出して、記入してください。

2. 補助対象工事費の算出

(単位：円)

工事項目	工事費計	補助対象工事費	補助対象外工事費	備考
住宅専用部分工事費	8,800,712	8,000,811	799,901	
共用部分工事費	イを転記 750,000	□を転記 620,625	129,375	補助対象住戸 面積按分
その他補助対象外工事費	0		0	
直接工事費 計	9,550,712	8,621,436	929,276	
諸経費等共通費	0	0	0	直接工事費按分
工事費合計(税別)	9,550,712	8,621,436	929,276	

3. 千円に単位を改めた金額：総額及び補助対象欄については切り捨て（補助対象外で合計値の整合性を調整）

(単位：千円)

合計工事費 (税抜) (千円)	工事費計	補助対象工事費	補助対象外工事費	備考
	9,550	8,621	929	

対象住戸工事内容説明書【共同居住型以外】

補助対象工事の異なる住戸毎に1枚記入してください。同一住戸タイプかつ同一対象工事の場合は1枚の用紙に記入。
(対象住戸部屋番号は全て記入のこと)

住宅の名称		スマートウェルネスアパート		交付決定通知書を受けたのち、工事が完了したら、 交付申請時の【SNJ】様式6改交住戸の工事内容を転記 してください。	
住戸の床面積 (異なる基準が定められている場合は、右欄の表記に関わらずその基準に準ずる)		<input checked="" type="checkbox"/> 各戸の床面積が25㎡以上 <input type="checkbox"/> 各戸の床面積が18㎡以上 共用部分に共同して利用するため適切な台所、収納設備又は浴室若しくはシャワー室を備えることにより、各住居部分に備える場合と同等以上の居住環境が確保される場合 <input type="checkbox"/> 共用部分に、下記設備等を設置する <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 収納設備 <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> シャワー室 ※居間、食堂、台所その他の居住の用に供する部分を賃借人が共同して利用する場合は、共同居住型賃貸住宅の基準を満たすこと			
面積、付帯設備の 同じ住戸毎	部屋番号	改修前後の面積を記入してください。 101・201			号室
	床面積・家賃	住戸床面積	改修前 13.0×2戸 m ²	改修後 26.00 m ²	改修後家賃 63,000 円
付帯設備	改修前	<input checked="" type="checkbox"/> 台所	<input checked="" type="checkbox"/> 便所	<input type="checkbox"/> 収納設備	<input checked="" type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> シャワー室
	改修後	<input checked="" type="checkbox"/> 台所	<input checked="" type="checkbox"/> 便所	<input checked="" type="checkbox"/> 収納設備	<input checked="" type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> シャワー室
補助対象工事（住戸）					
<input type="checkbox"/> バリアフリー改修工事	<input type="checkbox"/> 手摺の設置 <input type="checkbox"/> 段差解消 <input type="checkbox"/> 廊下幅等の拡張 <input type="checkbox"/> 出入口の改良 <input type="checkbox"/> 浴室の改良 <input type="checkbox"/> 便所の改良 <input type="checkbox"/> 階段の設置・改良 <input type="checkbox"/> 転倒防止 <input type="checkbox"/> エレベーター等の設置 改修前後の住戸内の設備をチェックしてください。				
<input type="checkbox"/> 居住のために最低限必要と認められた工事	<input type="checkbox"/> 従前賃貸住宅として使用されておらず、かつ3カ月以上空家であることを入居 [※] を行う者が確認済み <input type="checkbox"/> インスペクション等により居住のために補修改修が必要であると指摘を受けた工事 <input type="checkbox"/> 構造耐力上の安全性等 <input type="checkbox"/> 雨漏り・水濡れ等 <input type="checkbox"/> 設備配管劣化等 <input type="checkbox"/> その他				
<input type="checkbox"/> 居住支援協議会等が必要と認める改修工事 (専ら住宅確保要配慮者の住環境の改善に資する工事) 住戸内の補助対象となる完了した工事をチェックしてください。	<input type="checkbox"/> 入居者の身体等の状況に応じて必要となる工事 <input type="checkbox"/> 安全性能の向上工事 <input type="checkbox"/> 防音性・遮音性の向上工事 <input type="checkbox"/> ヒートショック対策工事（浴室・脱衣室・便所・寝室） <input type="checkbox"/> 防火・消火対策工事 <input type="checkbox"/> その他の工事 完了した工事内容を記入してください。				
<input checked="" type="checkbox"/> 間取り変更工事	改修後の間取り	2住戸を1住戸にし、1Rから1LDKに間取り変更工事を行った。			

交付申請書と同じ番号をご記入してください。

対象住戸工事内容説明書【共同居住型以外】

補助対象工事の異なる住戸毎に1枚記入してください。同一住戸タイプかつ同一対象工事の場合は1枚の用紙に記入。
(対象住戸部屋番号は全て記入のこと)

住宅の名称		スマートウェルネスアパート		交付決定通知書を受けたのち、工事が完了したら、 交付申請時の【SNJ】様式6改交住戸の工事内容を転記 してください。	
住戸の床面積 (異なる基準が定められている場合は、右欄の表記に関わらずその基準に準ずる)		<input checked="" type="checkbox"/> 各戸の床面積が25㎡以上 <input type="checkbox"/> 各戸の床面積が18㎡以上 共用部分に共同して利用するため適切な台所、収納設備又は浴室若しくはシャワー室を備えることにより、各住居部分に備える場合と同等以上の居住環境が確保される場合 <input type="checkbox"/> 共用部分に、下記設備等を設置する <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 収納設備 <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> シャワー室 ※居間、食堂、台所その他の居住の用に供する部分を賃借人が共同して利用する場合は、共同居住型賃貸住宅の基準を満たすこと			
面積、 同じ住戸毎の 付帯設備の	部屋番号	改修前後の面積を記入してください。 102・202			号室
	床面積・家賃	住戸床面積	改修前 13.0+12.5 m ²	改修後 25.50 m ²	改修後家賃 63,000 円
	付帯設備	改修前	<input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 便所 <input type="checkbox"/> 収納設備 <input checked="" type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> シャワー室	改修後	<input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 便所 <input checked="" type="checkbox"/> 収納設備 <input checked="" type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> シャワー室
補助対象工事（住戸） 改修前後の住戸内の設備をチェックしてください。					
<input checked="" type="checkbox"/> バリアフリー改修工事	<input checked="" type="checkbox"/> 手摺の設置 便所内縦手摺設置完了、また102の便所内1か所横手すりを追加施工した。 <input type="checkbox"/> 段差解消 <input type="checkbox"/> 廊下幅等の拡張 <input type="checkbox"/> 出入口の改良 <input type="checkbox"/> 浴室の改良 <input type="checkbox"/> 便所の改良 <input type="checkbox"/> 階段の設置・改良 <input type="checkbox"/> 転倒防止 <input type="checkbox"/> エレベーター等の設置 完了時に交付から変更(追加)された工事内容は、変更されたことが解かるよう明記してください。				
<input type="checkbox"/> 居住のために最低限必要と認められた工事	<input type="checkbox"/> 従前賃貸住宅として使用されておらず、かつ3カ月以上空家であることを入居(クソ)を行う者が確認済み <input type="checkbox"/> インスペクション等により居住のために補修改修が必要であると指摘を受けた工事 <input type="checkbox"/> 構造耐力上の安全性等 <input type="checkbox"/> 雨漏り・水濡れ等 <input type="checkbox"/> 設備配管劣化等 <input type="checkbox"/> その他				
<input type="checkbox"/> 居住支援協議会等が必要と認める改修工事 (専ら住宅確保要配慮者の住環境の改善に資する工事) 住戸内の補助対象となる完了した工事	<input type="checkbox"/> 入居者の身体等の状況に応じて必要となる工事 <input type="checkbox"/> 安全性能の向上工事 <input type="checkbox"/> 防音性・遮音性の向上工事 <input type="checkbox"/> ヒートショック対策工事(浴室・脱衣室・便所・寝室) <input type="checkbox"/> 防火・消火対策工事 <input type="checkbox"/> その他の工事 完了した工事内容を記入してください。				
<input checked="" type="checkbox"/> 間取り変更工事	改修後の間取り	2住戸を1住戸にし、1Rから1LDKに間取り変更工事を行った。			

対象住戸工事内容説明書【共同居住型以外】

補助対象工事の異なる住戸毎に1枚記入してください。同一住戸タイプかつ同一対象工事の場合は1枚の用紙に記入。
(対象住戸部屋番号は全て記入のこと)

住宅の名称		スマートウェルネスアパート		交付決定通知書を受けたのち、工事が完了したら、 交付申請時の【SNJ】様式6改交住戸の工事内容を転記 してください。	
住戸の床面積 (異なる基準が定められている場合は、右欄の表記に関わらずその基準に準ずる)		<input checked="" type="checkbox"/> 各戸の床面積が25㎡以上 <input type="checkbox"/> 各戸の床面積が18㎡以上 共用部分に共同して利用するため適切な台所、収納設備又は浴室若しくはシャワー室を備えることにより、各住居部分に備える場合と同等以上の居住環境が確保される場合 <input type="checkbox"/> 共用部分に、下記設備等を設置する <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 収納設備 <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> シャワー室 ※居間、食堂、台所その他の居住の用に供する部分を賃借人が共同して利用する場合は、共同居住型賃貸住宅の基準を満たすこと			
面積、 同じ住戸毎の 付帯設備の	部屋番号	改修前後の面積を記入してください。 103・203			号室
	床面積・家賃	住戸床面積	改修前 26.00 ㎡	改修後 26.00 ㎡	改修後家賃 63,500 円
付帯設備	改修前	<input checked="" type="checkbox"/> 台所	<input checked="" type="checkbox"/> 便所	<input type="checkbox"/> 収納設備	<input checked="" type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> シャワー室
	改修後	<input checked="" type="checkbox"/> 台所	<input checked="" type="checkbox"/> 便所	<input checked="" type="checkbox"/> 収納設備	<input checked="" type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> シャワー室
補助対象工事（住戸）					
<input type="checkbox"/> バリアフリー改修工事	<input type="checkbox"/> 手摺の設置 <input type="checkbox"/> 段差解消 <input type="checkbox"/> 廊下幅等の拡張 <input type="checkbox"/> 出入口の改良 <input type="checkbox"/> 浴室の改良 <input type="checkbox"/> 便所の改良 <input type="checkbox"/> 階段の設置・改良 <input type="checkbox"/> 転倒防止 <input type="checkbox"/> エレベーター等の設置				
<input type="checkbox"/> 居住のために最低限必要と認められた工事	<input type="checkbox"/> 従前賃貸住宅として使用されておらず、かつ3カ月以上空家であることをインスペクションを行う者が確認済み <input type="checkbox"/> インスペクション等により居住のために補修改修が必要であると指摘を受けた工事 <input type="checkbox"/> 構造耐力上の安全性等 <input type="checkbox"/> 雨漏り・水濡れ等 <input type="checkbox"/> 設備配管劣化等 <input type="checkbox"/> その他				
<input checked="" type="checkbox"/> 居住支援協議会等が必要と認める改修工事 (専ら住宅確保要配慮者の住環境の改善に資する工事)	<input checked="" type="checkbox"/> 入居者の身体等の状況に応じて必要となる工事 脱衣所、玄関に腰掛台を設置した。 <input type="checkbox"/> 安全性能の向上工事 <input type="checkbox"/> 防音性・遮音性の向上工事 <input checked="" type="checkbox"/> ヒートショック対策工事（浴室・脱衣室・便所・寝室） 暖房便座に交換、風呂・脱衣室に暖房乾燥機設置した。 <input type="checkbox"/> 防火・消火対策工事 <input type="checkbox"/> その他の工事				
<input type="checkbox"/> 間取り変更工事	改修後の間取り	住戸内の補助対象となる完了した工事内容をチェックし、工事の内容を記述してください。			

対象住戸工事内容説明書【共同居住型以外】

補助対象工事の異なる住戸毎に1枚記入してください。同一住戸タイプかつ同一対象工事の場合は1枚の用紙に記入。
(対象住戸部屋番号は全て記入のこと)

住宅の名称		スマートウェルネスアパート		交付決定通知書を受けたのち、工事が完了したら、 交付申請時の【SNJ】様式6改交住戸の工事内容を転記 してください。	
住戸の床面積 (異なる基準が定められている場合は、右欄の表記に関わらずその基準に準ずる)		<input checked="" type="checkbox"/> 各戸の床面積が25㎡以上 <input type="checkbox"/> 各戸の床面積が18㎡以上 共用部分に共同して利用するため適切な台所、収納設備又は浴室若しくはシャワー室を備えることにより、各住居部分に備える場合と同等以上の居住環境が確保される場合 <input type="checkbox"/> 共用部分に、下記設備等を設置する <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 収納設備 <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> シャワー室 ※居間、食堂、台所その他の居住の用に供する部分を賃借人が共同して利用する場合は、共同居住型賃貸住宅の基準を満たすこと			
面積、 同じ住戸毎の 付帯設備の	部屋番号	改修前後の面積を記入してください。 104・204			号室
	床面積・家賃	住戸床面積	改修前 26.00 ㎡	改修後 26.00 ㎡	改修後家賃 63,500 円
付帯設備	改修前	<input checked="" type="checkbox"/> 台所	<input checked="" type="checkbox"/> 便所	<input type="checkbox"/> 収納設備	<input checked="" type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> シャワー室
	改修後	<input checked="" type="checkbox"/> 台所	<input checked="" type="checkbox"/> 便所	<input checked="" type="checkbox"/> 収納設備	<input checked="" type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> シャワー室
補助対象工事（住戸）					
<input checked="" type="checkbox"/> バリアフリー 改修工事	<input type="checkbox"/> 手摺の設置 <input checked="" type="checkbox"/> 段差解消 玄関、居室の段差解消工事を行った。 <input type="checkbox"/> 廊下幅等の拡張 <input type="checkbox"/> 出入口の改良 <input type="checkbox"/> 浴室の改良 <input type="checkbox"/> 便所の改良 <input type="checkbox"/> 階段の設置・改良 <input type="checkbox"/> 転倒防止 <input type="checkbox"/> エレベーター等の設置 住戸内の補助対象となる完了した工事内容をチェックし、工事の内容を記述してください。				
<input type="checkbox"/> 居住のために 最低限必要と 認められた工事	<input type="checkbox"/> 従前賃貸住宅として使用されておらず、かつ3カ月以上空家であることを入居者（テナント）を行う者が確認済み <input type="checkbox"/> インスペクション等により居住のために補修改修が必要であると指摘を受けた工事 <input type="checkbox"/> 構造耐力上の安全性等 <input type="checkbox"/> 雨漏り・水濡れ等 <input type="checkbox"/> 設備配管劣化等 <input type="checkbox"/> その他 完了した工事内容を記入してください。				
<input checked="" type="checkbox"/> 居住支援協議 会等が必要と 認める改修工 事 (専ら住宅確保要 配慮者の住環境 の改善に資する 工事)	<input checked="" type="checkbox"/> 入居者の身体等の状況に応じて必要となる工事 脱衣所、玄関に腰掛台を設置した。 <input type="checkbox"/> 安全性能の向上工事 <input type="checkbox"/> 防音性・遮音性の向上工事 <input checked="" type="checkbox"/> ヒートショック対策工事（浴室・脱衣室・便所・寝室） 暖房便座に交換、風呂・脱衣室に暖房乾燥機設置した。 <input type="checkbox"/> 防火・消火対策工事 <input type="checkbox"/> その他の工事				
<input type="checkbox"/> 間取り変更工 事	改修後の 間取り				

対象住戸工事内容説明書【共同居住型以外】

補助対象工事の異なる住戸毎に1枚記入してください。同一住戸タイプかつ同一対象工事の場合は1枚の用紙に記入。
(対象住戸部屋番号は全て記入のこと)

住宅の名称		スマートウェルネスアパート		交付決定通知書を受けたのち、工事が完了したら、 交付申請時の【SNJ】様式6改交住戸の工事内容を転記 してください。			
住戸の床面積 (異なる基準が定めら れている場合は、右 欄の表記に関わらず その基準に準ずる)		<input checked="" type="checkbox"/> 各戸の床面積が25㎡以上 <input type="checkbox"/> 各戸の床面積が18㎡以上 共用部分に共同して利用するため適切な台所、収納設備又は浴室若しくはシャワー室を備えることによ り、各住居部分に備える場合と同等以上の居住環境が確保される場合 <input type="checkbox"/> 共用部分に、下記設備等を設置する <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 収納設備 <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> シャワー室 ※居間、食堂、台所その他の居住の用に供する部分を賃借人が共同して利用する場合は、共同居住型賃貸住宅の基準を満たすこと					
面積、 付帯設 備の 住戸毎	部屋番号	改修前後の面積を記入してください。		105	号室		
	床面積・家賃	住戸床面積	改修前	26.00 m ²	改修後	26.00 m ²	改修後家賃
付帯設備	改修前	<input checked="" type="checkbox"/> 台所	<input checked="" type="checkbox"/> 便所	<input type="checkbox"/> 収納設備	<input checked="" type="checkbox"/> 浴室	<input type="checkbox"/> シャワー室	
	改修後	<input checked="" type="checkbox"/> 台所	<input checked="" type="checkbox"/> 便所	<input checked="" type="checkbox"/> 収納設備	<input checked="" type="checkbox"/> 浴室	<input type="checkbox"/> シャワー室	
補助対象工事（住戸）							
<input type="checkbox"/> バリアフリー 改修工事	<input type="checkbox"/> 手摺の設置 <input type="checkbox"/> 段差解消 <input type="checkbox"/> 廊下幅等の拡張 <input type="checkbox"/> 出入口の改良 <input type="checkbox"/> 浴室の改良 <input type="checkbox"/> 便所の改良 <input type="checkbox"/> 階段の設置・改良 <input type="checkbox"/> 転倒防止 <input type="checkbox"/> エレベーター等の設置						
<input type="checkbox"/> 居住のために 最低限必要と 認められた工事	<input type="checkbox"/> 従前賃貸住宅として使用されておらず、かつ3カ月以上空家であることをインスペクションを行う者が確認済み <input type="checkbox"/> インスペクション等により居住のために補修改修が必要であると指摘を受けた工事 <input type="checkbox"/> 構造耐力上の安全性等 <input type="checkbox"/> 雨漏り・水濡れ等 <input type="checkbox"/> 設備配管劣化等 <input type="checkbox"/> その他						
<input checked="" type="checkbox"/> 居住支援協議 会等が必要と 認める改修工 事 (専ら住宅確保要 配慮者の住環境 の改善に資する 工事)	<input checked="" type="checkbox"/> 入居者の身体等の状況に応じて必要となる工事 脱衣所、玄関に腰掛台を設置した。 <input type="checkbox"/> 安全性能の向上工事 <input type="checkbox"/> 防音性・遮音性の向上工事 <input checked="" type="checkbox"/> ヒートショック対策工事（浴室・脱衣室・便所・寝室） 暖房便座に交換、風呂・脱衣室に暖房乾燥機設置した。 <input type="checkbox"/> 防火・消火対策工事 <input type="checkbox"/> その他の工事						
<input type="checkbox"/> 間取り変更工 事	改修後の 間取り	住戸内の補助対象となる完了した工事内容をチェックし、工事の 内容を記述してください。					

住戸内の補助対象となる完了した工事内容をチェックしてください。

改修前後の住戸内の設備をチェックしてください。

住戸内の補助対象となる完了した工事内容をチェックし、工事の内容を記述してください。

対象住戸工事内容説明書【共同居住型以外】

補助対象工事の異なる住戸毎に1枚記入してください。同一住戸タイプかつ同一対象工事の場合は1枚の用紙に記入。
(対象住戸部屋番号は全て記入のこと)

住宅の名称		スマートウェルネスアパート		交付決定通知書を受けたのち、工事が完了したら、 交付申請時の【SNJ】様式6改交住戸の工事内容を転記 してください。							
住戸の床面積 (異なる基準が定められている場合は、右欄の表記に関わらずその基準に準ずる)		<input checked="" type="checkbox"/> 各戸の床面積が25㎡以上 <input type="checkbox"/> 各戸の床面積が18㎡以上 共用部分に共同して利用するため適切な台所、収納設備又は浴室若しくはシャワー室を備えることにより、各住居部分に備える場合と同等以上の居住環境が確保される場合 <input type="checkbox"/> 共用部分に、下記設備等を設置する <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 収納設備 <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> シャワー室 ※居間、食堂、台所その他の居住の用に供する部分を賃借人が共同して利用する場合は、共同居住型賃貸住宅の基準を満たすこと									
面積、 同じ住戸毎の 付帯設備の	部屋番号	改修前後の面積を記入してください。				106	号室				
	床面積・家賃	住戸床面積	改修前	28.50	㎡	改修後	28.50	㎡	改修後家賃	64,000	円
付帯設備	改修前	<input checked="" type="checkbox"/> 台所	<input checked="" type="checkbox"/> 便所	<input type="checkbox"/> 収納設備	<input checked="" type="checkbox"/> 浴室	<input type="checkbox"/> シャワー室					
	改修後	<input checked="" type="checkbox"/> 台所	<input checked="" type="checkbox"/> 便所	<input checked="" type="checkbox"/> 収納設備	<input checked="" type="checkbox"/> 浴室	<input type="checkbox"/> シャワー室					
補助対象工事（住戸）											
<input type="checkbox"/> バリアフリー改修工事	住戸内の補助対象となる完了した工事をチェックしてください。		<input type="checkbox"/> 手摺の設置								
			<input type="checkbox"/> 段差解消								
			<input type="checkbox"/> 廊下幅等の拡張								
			<input type="checkbox"/> 出入口の改良								
			<input type="checkbox"/> 浴室の改良								
			<input type="checkbox"/> 便所の改良								
			<input type="checkbox"/> 階段の設置・改良								
			<input type="checkbox"/> 転倒防止								
			<input type="checkbox"/> エレベーター等の設置								
<input type="checkbox"/> 居住のために最低限必要と認められた工事			<input type="checkbox"/> 従前賃貸住宅として使用されておらず、かつ3カ月以上空家であることをインスペクションを行う者が確認済み								
			<input type="checkbox"/> インスペクション等により居住のために補修改修が必要であると指摘を受けた工事								
			<input type="checkbox"/> 構造耐力上の安全性等								
			<input type="checkbox"/> 雨漏り・水濡れ等								
			<input type="checkbox"/> 設備配管劣化等								
			<input type="checkbox"/> その他								
<input type="checkbox"/> 居住支援協議会等が必要と認める改修工事 (専ら住宅確保要配慮者の住環境の改善に資する工事)			<input type="checkbox"/> 入居者の身体等の状況に応じて必要となる工事								
			<input type="checkbox"/> 安全性能の向上工事								
			<input type="checkbox"/> 防音性・遮音性の向上工事								
			<input type="checkbox"/> ヒートショック対策工事（浴室・脱衣室・便所・寝室）								
			<input type="checkbox"/> 防火・消火対策工事								
			<input type="checkbox"/> その他の工事								
<input checked="" type="checkbox"/> 間取り変更工事	改修後の間取り	3DKを2LDKにかえる間取り変更工事を行った。									
		住戸内の補助対象となる完了した工事内容をチェックし、工事の内容を記述してください。									

事務局管理番号									
3	0	0	0	0	0	△	△	△	△

交付申請書と同じ番号をご記入してください。

【SNJ】様式6改完共用

共用部工事内容説明書【共同居住型以外】

＜共同居住型以外又は共同居住型住宅で共用部の工事＞

住宅の名称	スマートウェルネスアパート	
工事部位・内容（記述）		
工事部位	工事内容	
廊下・階段	<ul style="list-style-type: none"> 共用廊下と共用階段に手すりを設置し、安全に移動ができるよう配慮した。また、階段の上り下りが楽になるように改良した。 	
エントランス・外廊下	<ul style="list-style-type: none"> 地盤面からエントランス・外廊下への段差を車いすでも容易に出入りできるようにスロープを設置し、バリアのないアプローチに改修をおこなった。 	
共用部に関する工事の全体像が把握できるように、工事を行う部位、内容について記述してください。下欄の補助対象工事欄に対する補足説明も記入してください。		
補助対象工事（共用部）		
<input checked="" type="checkbox"/> バリアフリー改修工事 共用部の補助対象となる工事をチェックしてください。	<input checked="" type="checkbox"/> 手摺の設置 <input checked="" type="checkbox"/> 段差解消 <input type="checkbox"/> 廊下幅等の拡張 <input type="checkbox"/> 出入口の改良 <input type="checkbox"/> 浴室の改良 <input type="checkbox"/> 便所の改良 <input checked="" type="checkbox"/> 階段の設置・改良 <input type="checkbox"/> 転倒防止 <input type="checkbox"/> エレベーター等の設置	共用廊下と共用階段に手摺を設置した。 地盤面から共用エントランス・廊下までのスロープを設置した。 蹴上を低くし、踏面を広げ、段数を増やし勾配を緩くした。
	共用部の補助対象となる工事内容をチェックし、完了した工事の内容を記述してください。	
<input type="checkbox"/> 居住のために最低限必要と認められた工事	<input type="checkbox"/> 従前賃貸住宅として使用されておらず、かつ3カ月以上空家であることをインパクションを行う者が確認済み <input type="checkbox"/> インспекション等により居住のために補修改修が必要であると指摘を受けた工事 <input type="checkbox"/> 構造耐力上の安全性等 <input type="checkbox"/> 雨漏り・水濡れ等 <input type="checkbox"/> 設備配管劣化等 <input type="checkbox"/> その他	
<input type="checkbox"/> 居住支援協議会等が必要と認める改修工事（専ら住宅確保要配慮者の住環境の改善に資する工事）	<input type="checkbox"/> 入居者の身体等の状況に応じて必要となる工事 <input type="checkbox"/> 安全性能の向上工事 <input type="checkbox"/> 防音性・遮音性の向上工事 <input type="checkbox"/> ヒートショック対策工事（浴室・脱衣室・便所・寝室） <input type="checkbox"/> 防火・消火対策工事 <input type="checkbox"/> その他の工事	
<input type="checkbox"/> 耐震改修工事	※完了実績報告時に、耐震改修工事証明書提出のこと	
<input type="checkbox"/> 間取変更工事	改修後間取り	

交付決定通知書を受けたのち、工事が完了したら、交付申請時の【SNJ】様式6改交住戸の工事内容を転記してください。

事務局管理番号					
3	0	0	0	△	△

交付申請書と同じ番号をご記入ください。

(別紙1-1)

ページ番号 :	1
---------	---

ページを記入してください。

改修工事前の写真（外観・内観）

*外観は、建物立地が確認できるものとしてください。

*交付申請時の改修工事前の写真を左に、完了実績報告時は改修工事後の写真を右欄に添付してください。

改修前	改修後
敷地の周囲を含んだ建物全体の写真	敷地の周囲を含んだ建物全体の写真
<p>交付申請に貼付 撮影日：写真内に黒板等で写すこと</p>	<p>完了実績報告に貼付 撮影日：写真内に黒板等で写すこと</p>
<p>敷地と建物の関係がわかる遠景写真を貼りつけてください。</p>	
撮影日 平成 30 年 7 月 1 日	撮影日 平成 30 年 10 月 15 日

撮影日を記入してください。

改修前後の建物全景写真

* 交付申請時の改修工事前の写真を左に、完了実績報告時は改修工事後の写真を右欄に添付してください。

改修前		改修後	
北側 立面			
<p>交付申請に貼付 立面全体がわかる写真を添付 撮影日：写真内に黒板等で写すこと</p>		<p>完了実績報告に貼付 立面全体がわかる写真を添付 撮影日：写真内に黒板等で写すこと</p>	
四方向の全景写真を貼りつけてください。			
撮影日 平成 30 年 7 月 1 日		撮影日 平成 30 年 10 月 15 日	
東側 立面			
<p>改修前写真の撮影日を記入してください。</p> <p>交付申請に貼付 立面全体がわかる写真を添付 撮影日：写真内に黒板等で写すこと</p>		<p>改修後写真の撮影日を記入してください。</p> <p>完了実績報告に貼付 立面全体がわかる写真を添付 撮影日：写真内に黒板等で写すこと</p>	
撮影日 平成 年 月 日		撮影日 平成 年 月 日	
南側 立面			
<p>交付申請に貼付 立面全体がわかる写真を添付 撮影日：写真内に黒板等で写すこと</p>		<p>完了実績報告に貼付 立面全体がわかる写真を添付 撮影日：写真内に黒板等で写すこと</p>	
撮影日 平成 年 月 日		撮影日 平成 年 月 日	
西側 立面			
<p>交付申請に貼付 立面全体がわかる写真を添付 撮影日：写真内に黒板等で写すこと</p>		<p>完了実績報告に貼付 立面全体がわかる写真を添付 撮影日：写真内に黒板等で写すこと</p>	
撮影日 平成 年 月 日		撮影日 平成 年 月 日	

事務局管理番号									
3	0	0	0	0	0	△	△	△	△

部屋番号	
101	

部屋番号を記入してください。

ページ番号： 3

ページを記入してください。

交付申請書と同じ番号をご記入ください。

改修前・中・後の全室、部位（外部・内部）写真 補助要件確認写真

* 交付申請時は改修工事前の写真を左に、工事中の写真を中心に、完了実績報告時は改修工事後の写真を右欄に添付してください。

改修前		改修中		改修後			
室名	居室	部位	壁	室名	LDK	部位	壁
<p>交付申請に貼付 撮影日：写真内に黒板等で写すこと</p> <p>撮影日 平成 30 年 7 月 1 日</p>		<p>室、部位について、完了した改修工事部分が鮮明に確認できるように張り付けてください。</p> <p>補助対象とする施工内容が隠れてしまう部位は、工 事中がわかる写真を貼りつけてください。</p> <p>工事完了後に目視で工事内容が確認ができなくなる補助対象工事（断熱材、構造材等）については、工 事中の写真を添付してください</p> <p>撮影日 平成 年 月 日</p>		<p>施工前と同じアングルの完了写真を貼りつけてください。</p> <p>完了実績報告に貼付 撮影日：写真内に黒板等で写すこと</p> <p>撮影日 平成 30 年 10 月 15 日</p>			
						<p>撮影日 平成 年 月 日</p>	
<p>交付申請に貼付 撮影日：写真内に黒板等で写すこと</p> <p>撮影日 平成 年 月 日</p>		<p>工事完了後に目視で工事内容が確認ができなくなる補助対象工事（断熱材、構造材等）については、工 事中の写真を添付してください</p> <p>撮影日 平成 年 月 日</p>		<p>完了実績報告に貼付 撮影日：写真内に黒板等で写すこと</p> <p>撮影日 平成 年 月 日</p>			

事務局管理番号						
3	0	0	0	0	△	△

(委任状)

交付申請書と同じ番号
をご記入ください。

様式1改完の交付申請者が委任する
事務担当者への委任状になります。
申請者と事務担当者がことなる場合に記入提出してください。

委 任 状

補助事業の名称 スマートウェルネス住宅等推進事業
対象事業名 住宅確保要配慮者専用賃貸住宅改修事業
住宅の名称 **スマートウェルネスアパート**

交付申請書 様式1改交の住宅の名称と一致させてください。

私は、下記の者を、表記の事業に係る事務担当者と定め、本件事業における住宅確保要配慮者専用賃貸住宅改修事業事務局との唯一の連絡窓口として指名するとともに、本件事業の実施に関する手続き業務の一切を委任します。

様式1改完の事務担当者と一致させてください。

事務担当者氏名 **賃貸 太郎** (印)
所属・役職 **株式会社SN住宅 企画部 部長**
住所 〒 **110-0000**
東京都千代田区神田〇-〇-〇

事務担当者の任期 補助事業の実施に関する一切の業務が完了し、定期報告窓口に業務を引き継ぐまで。ただし、委任者が後任事務担当者を指名した場合は、この限りではない。

完了実績報告書事前相談日を記入してください。

平成 **30** 年 **10** 月 **18** 日

委任者住所 〒 **111-0000** **様式1改完の交付申請者と一致させてください。**
東京都千代田区神田〇-〇-〇

委任者氏名 **株式会社 SN住宅 代表取締役 住宅 花子** (印)

※法人にあっては代表者印

事務局管理番号							
3	0	0	0	0	0	△	△

(規約)

交付申請書と同じ番号をご記入ください。

以下は例示ですので、この通りに作成しなければならないものではありません。
共同規約によるトラブルが生じた場合は、当事者間で解決していただくこととなりますので
それぞれの事情にあわせ適切な規約を締結してください。

住宅確保要配慮者専用賃貸住宅改修事業費補助金における（交付事業名）共同事業実施規約

共同事業者がいる場合に、作成ください。

平成 30 年 7 月 10 日

規約を結了した日を記入してください。

甲：補助を受ける者

(印)

住所

乙：共同事業者

(印)

住所

(補助金交付への協力)

- 第1条 甲と乙は、本規約により改修する建物（以下「本建物」という。）が、国土交通省（以下「所轄官庁」という。）所轄の住宅確保要配慮者専用賃貸住宅改修事業補助金（以下「本補助金」という。）の交付要件を満たすことを前提に設計された建物であり、本補助金の交付を受けるための所要の手続きを、両者協力して共同で行うことを確認する。
- 2 本事業において補助対象とする費用について、国の他の補助金（負担金、利子補給金並びに補助金適正化法第2条第4項第1号に掲げる給付金及び同項第2号に掲げる資金を含む。）及び介護保険給付又は医療保険給付の対象費用を含むものでないことを確認する。

(交付申請)

- 第2条 甲と乙は、本規約締結後、速やかに、本建物に関する補助金〇〇〇万円の交付申請（以下「本申請」という。）を共同して行うものとする。
- 2 本補助金の申請から受領に要する諸手続きは、甲及び乙を代表して甲が行うものとする。

(工事代金への充当)

- 第3条 本補助金の受領については、甲及び乙を代表して甲が行うものとし、甲は受領した補助金を、本契約に定める甲の建築工事請負代金債務の支払いに直ちに充当するものとする。
- 2 甲は前項の充当後、速やかにその旨を乙に通知するものとする。

(不承認の場合)

- 第4条 本申請にもかかわらず本補助金の不交付が確定した場合には、交付を前提として定めた建築工事請負代金の支払については、甲及び乙によって誠実に協議するものとする。
- 2 最終的な補助金額は完了実績報告の審査後に確定することを確認する。

事務局管理番号							
3	0	0	0	0	0	△	△

交付申請書と同じ番号をご記入ください。

面積按分参考

完了時に面積が変更になった場合は、事前相談時にご報告ください。按分表を作成しなおしてください。

		建物住戸部分												
		補助対象住戸部分 (㎡)								計	補助対象外住戸等部分 (㎡)	住戸面積合計 (㎡)		
		住戸部屋番号 住戸面積 (S) 戸当たり比率 (t1 : s/a)												
各階住戸面積	5階	部屋番号												
		S										0.00		0.00
	t1	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000					
	4階	部屋番号												0.00
		S												0.00
	t1	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000					
	3階	部屋番号												0.00
		S										0.00		0.00
	t1	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000					
	2階	部屋番号	201	202	203	204							205・206	
		S	26.00	25.50	26.00	26.00						103.50	54.50	158.00
		t1	0.0994	0.0975	0.0994	0.0994	0	0	0					
	1階	部屋番号	101	102	103	104	105	106						
		S	26.00	25.50	26.00	26.00	26.00	28.50				158.00		158.00
t1		0.0994	0.0975	0.0994	0.0994	0.0994	0.1089	0						
合計										261.50	54.50	316.00		
										a	b	c=a+t1		
										0.8275				
										t2 : a/c				

補助対象外住戸の部屋番号と補助対象外住戸床面積の合計を記載してください。

工事完了時の住戸面積を記入して按分面積表を作成してください。

住戸面積の合計は、建物の全ての住戸の合計面積です。

<作表手順>

- 補助対象住戸部分の黄色欄上段に補助対象住戸の部屋番号(室名)を記入してください。
- 補助対象住戸部分の黄色欄下段に1戸ごとの住戸面積を記入してください。
- 補助対象外住戸部分の黄色欄に各階の補助対象外住戸面積の合計を記入してください。共用廊下や階段等は含めないで下さい。
- t1は補助対象住戸面積合計に対する1戸ごとの住戸面積の比率です。自動計算されます。
- t2は補助対象外住戸も含めた住戸面積全体に対する補助対象住戸面積合計の比率です。自動計算されます。
- この表の欄が足りない場合は、申請建物に応じて表を修正してください。

<注意>

住戸面積の算出方法は建築基準法に準拠します。ポーチ・アルコーブは住戸の使用実態に合わせ、必要に応じて住戸面積又は共用部面積に含めて下さい。